

デザイン振興政策アーカイブの構築

Outline of "Design Promotion Policy Archive" Project

- 黒田宏治／静岡文化芸術大学、青木史郎／中国美術学院・日本デザイン振興会、余剣／日本デザイン振興会
 KURODA Kohji/Shizuoka University of Art and Culture, AOKI shiro/China Academy of Art, Japan
 Institute of Design Promotion, YU Jian/Japan Institute of Design Promotion
- Keywords: Design Promotion, Design Policy, Design Archive, Design History

1. はじめに

長年デザイン振興政策研究等に携わる中で、この分野では基礎的・歴史的な政策資料・関連情報が揃えづらい経験をしてきた。同じような思いをされてきた研究者等も少なくないと推察される。そのような事情もあって、デザイン政策は研究分野としての開拓が遅れてきたのではないだろうか。それにより歴史的評価も踏まえた新たなデザイン振興政策がうまく展開されてこなかった可能性も考えられる。そのような問題認識のもと、戦後日本のデザイン振興政策に関する資料の収集整理を進めウェブ構築しようと、2年前にデザイン振興政策アーカイブ（以下、本アーカイブ）のプロジェクトをスタートした。本稿では、その進捗・評価について報告する。

2. アーカイブの対象範囲

日本のデザイン振興の歴史を辿ると明治の初めに遡るが、今回のプロジェクトでは第二次世界大戦の戦災復興から現代に至る流れ、主に1950年代から2000年代までを視野に、通商産業省（2001年～経済産業省）を中心に国の関係で取り組まれてきた内容を中心とすることとした。（→図1参照）

具体的には、政策・事業の主体ごとに分けて整理すると、1956年に設置されたデザイン奨励審議会の流れ、通商産業省

のデザイン課等で取り組まれてきたデザイン政策の流れ、その外郭団体である日本産業デザイン振興会（現・日本デザイン振興会）、国際デザイン交流協会にて実施されてきた様々なデザイン振興事業を中心に、中小企業庁にて取り組まれてきた関係諸事業、日本産業デザイン振興会に先立つジャパンデザインハウス、各意匠センター、そして民活施設である国際デザインセンターなどを含めた範囲を主たる対象とした。

尚、デザイン振興政策の中核的事业であるGマークに関しては、現在日本デザイン振興会において「年度別アーカイブ」「Gマーク大全」等がウェブ公開されており、今回プロジェクトでは重複部分は除外とした。また、特許庁関連の意匠制度の関係の流れ、産業工芸試験所を中心とした試験研究の流れに関しては、節目節目で情報の整理・公開が進められてきた経緯もあり、今回は主要な資料の紹介にとどめた。

3. 資料の種類と政策分野

本アーカイブは、文献検索、デザイン振興のあゆみ、視点・論点、研究フォーラムの4つの部分から構成される。ベースは文献検索の部分である。次のような資料収録に努めてきた。

まず審議会答申や関連法資料などの政策基本資料、それらに基づき展開される個々の施策・事業の企画書・説明書などの施策説明資料がある。これらはデザイン振興政策展開の背骨となる資料群である。そして、各種施策展開や振興事業実施の記録をとりまとめた事業報告資料、施策・事業の検討経過や研究会報告などの調査報告資料、それから関係の情報記録を編纂した資料集やマニュアル類などの情報記録資料がある。これらが量的には中心となる資料群である。それから、関係の広報印刷物やパンフレット、振興機関の設立・運営資料、デザイン振興政策に関する論説・論評記事なども含め、できるだけ幅広い情報資料を収録するかたちをとっている。資料の形態としては、数頁の文書資料、冊子体の報告書や図書に加え、パンフレット等の印刷物、雑誌記事なども含む。いずれも基本的にはPDF化された情報内容と書誌情

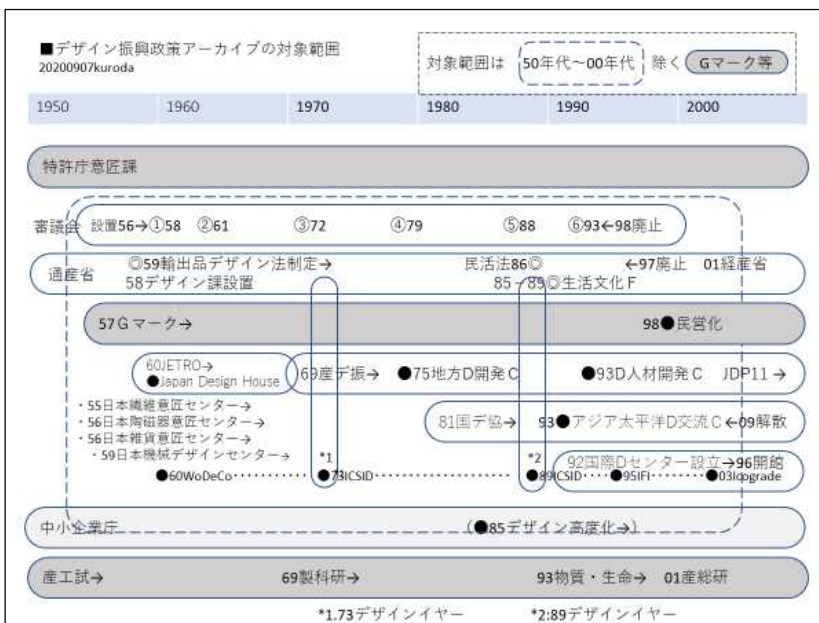


図1：デザイン振興政策アーカイブの対象範囲

報を収録するかたちとした。

収録資料の政策分野に関しては、その他を含め 15 分野を設定した。1.政策体系、2.輸出振興、3.地域振興・中小企業、4.国際交流、5.人材育成、6.デザイン産業、7.デザイン方法、8.デザインマネジメント、9.グッドデザイン賞、10.デザインイヤー、11.地方産業デザイン開発、12.デザイン課題動向、13.消費者・生活者、14.デザインイベント、19.その他、である。現在までのところ、収録数の上位 3 位は、地域振興・中小企業 (83 件)、デザイン課題動向 (54 件)、政策体系 (39 件) であり、以下デザインイベント (35 件)、デザインイヤー (31 件)、地方産業デザイン開発 (29 件)、グッドデザイン賞 (29 件) が資料数の多い分野である。現在までという制約下ではあるが、戦後の輸出振興からスタートしたが、地域産業振興が政策の中心となってきたこと、新たなデザイン政策テーマの探求並びにイベントを通してのデザインの啓発・普及に努めてきたことが、資料数に反映されていると考えられる。

4. 現在までの到達点と現状評価

本アーカイブには、現時点で資料総数 325 件が収録されており、うち資料内容まで見られる形で公開されている資料が 228 件である。これまで散在していた資料、なかなか目にするのができなかった資料も収録され、自由に検索・閲覧できるような環境が整えられたことは、まずは重要な成果であると考えている。そのような前提のもと、既存の主要研究資料データベースと比較する中で (→表 1 参照)、本アーカイブにはいくつかの特徴的な優位点があると考えている。

1 点目は、6 回の審議会答申の内容を収録できたことである。関係者には、審議会答申は 1990 年代までに 6 回出されたと知られているが、通して見た方は少ないのではないかと。主要研究資料データベースでも 1~2 件しか収録されておらず、閲覧に手間を要する状況を見ると、政策の根本とも言える資料へのアクセス向上は研究推進に格段の改善である。

2 点目は、地方産業デザイン開発推進事業報告書の掘り起こしが行われたことである。デザイン振興事業という、Gマークの認知度が高いが、1970 年代から 80 年代にかけてのもう一本の柱であった事業であり、後の地場産業デザイン振興等のモデルとなった事業でもある。終了して 30 年以上が経過し、記録や記憶も消失しかけていたが、今回その全報告書を掘り起こし内容閲覧できる形に収録することができた。

3 点目は、デザインイヤー関係の資料掘り起こし、収録が行えたことである。デザインイヤー運動は 1973 年と 1989 年に実施されたが、主要研究資料データベースを見てわかる通り、関係資料の蓄積は皆無に近い状況にあった。それが今回、当時の広報・記録資料類を通じて全体像を振り返れる形になった。戦後デザイン振興政策史上の大きな節となる事業であり、今後これら資料等を活用した研究・再評価が期待される。

4 点目は、1990 年代の数々の調査報告資料を収録できたことである。1990 年代は審議会の廃止、Gマーク民営化など、デザイン振興政策が大きく変動した時代である。その期間に通商産業省、日本産業デザイン振興会などにおいて、新たなデザイン政策のあり方を模索する数々の調査研究、研究会が行われてきた。ただ多くは関係者配布などであり、今回その辺りも多くを集約して検索・閲覧できるよう整えられた。

5. おわりに

以上、本アーカイブのベースとなる資料収録の概要であり、現在までの到達点と評価である。本稿では触れられなかったが、文献資料を補完する証言記録にも取り組んでいる。順調に推移したとばかりは言えず課題もある。現状では、中小企業庁関係の資料、日本産業デザイン振興会の設立以前の関係団体事業資料はかなり手薄な状況にある。もしお手持ちの方がいらしたら、お声掛け願えたらと思う。本アーカイブの充実に向けて、いましばし鋭意取り組んでいけたらと考えている。本研究は JSPS 科研費 JP18K11961 の助成を受けた。

表 1：アーカイブ収録資料の比較検討

資料項目	デザイン振興政策 アーカイブ	CiNii Books	国立国会図書館サーチ	備考
デザイン奨励 審議会答申	全6件収録	1件ヒット *88答申のみ (所蔵3館)	2件ヒット *88答申及び93答申	*審議会答申は1958.61.72.79.88.93に出された。 *88答申のみ市販された。
デザインイヤー 資料	31件収録	4件ヒット *「デザインイヤー」でキーワード検索 (所蔵各1~7館)	3件ヒット *資料種別「本」で「デザインイヤー」キーワード検索。38件ヒットしたが、CiNiiの4件、雑誌記事31件を除いた。	*73デザインイヤー及び89デザインイヤーの関係資料を含む。
地方産業デザイン 開発推進事業資料	29件収録 *実施指導報告書 全11件 体制整備報告書 全11件 その他資料 7件	8件ヒット *「地方産業デザイン開発推進事業」で検索。 *実施指導報告書 50,51,55~60年度 (所蔵2館)	7件ヒット *タイトル「地方産業デザイン開発推進事業」で検索。 *実施指導報告書 51~54体制整備報告書 51,53,55	*事業は昭和50年度から60年度まで11年度に実施された。 *資料は毎年度のデザイン開発実施指導事業報告書及びデザイン振興開発体制整備事業報告書、その他資料がある。
デザイン政策関連 調査研究資料 (1990年代)	37件収録	23件ヒット *タイトル「デザイン」「調査研究」、出版年「1990~99」で検索、28件ヒットしたが、うち5件は特定地域調査研究等であり除外した。(所蔵各1~18館)	25件がヒット *タイトル「デザイン」「調査研究」、出版年「1990~99」で検索、36件ヒットしたが、うち11件は特定地域調査研究等で除外した。	*国関係 (国及び関係団体実施) の調査研究資料を比較検討の対象とした。

*注：筆者作成 (2020年9月4・5日調査)。国立国会図書館サーチではCiNii収録を除く資料数でカウントした。